

1 審査付託事件

議案第6号 令和8年度士幌町一般会計予算

議案第7号 令和8年度士幌町国民健康保険事業特別会計予算

議案第8号 令和8年度士幌町後期高齢者医療事業特別会計予算

議案第9号 令和8年度士幌町介護保険事業特別会計予算

議案第10号 令和8年度士幌町介護サービス事業特別会計予算

議案第11号 令和8年度士幌町国民健康保険病院事業会計予算

議案第12号 令和8年度士幌町簡易水道事業会計予算

議案第13号 令和8年度士幌町下水道事業会計予算

2 出席委員（10名）

中村 貢	森本 真隆	山中 明裕	矢坂 賢哉	牧野 圭司
大西 米明	西山 伸宏	伊藤 健蔵	成田 哲也	秋間 紘一

3 欠席委員（1名）

曾我 弘美

4 説明のため出席した者

町長	高木 康弘	教育長	土屋 仁志
代表監査委員	寺田 和也		

5 士幌町長の委任を受けて出席した者

副町長	亀野 倫生	総務課長	西野 孝典
地域戦略課長	小野寺 務	会計管理者	三野宮智恵子
町民課長	角田 淳二	保健福祉課長	佐藤 慶岩
産業振興課長	吉川 和美	建設課長	上山 英樹
建設課道路維持担当課長	若原 裕	病院事務長	増田 達也
特老施設長	福田 剛大	幼児教育課長	郷原 敏宏
消防課長	仙石 讓		

ほか、関係職員

6 教育長の委任を受けて出席した者

参事	下坂 吉彦	教育課長	川岸 滋一
給食センター所長	加納 正信	高校事務長	杉山みちる

7 農業委員会会長の委任を受けて出席した者

事務局長	加藤 吉宏
------	-------

8 職務のため出席した者

事務局長

藤内 和三

係長

戸水 祐也

9 会議録

会議の経過

(開会 午前10時36分)

○中村委員長

ただいまから予算審査を行います。

本委員会の運営について特段のご協力をお願いいたします。

審査の方法は、理事者から総括説明を受けた後、各課より説明を受け、質疑の後、会計ごとに討論、採決を行いたいと思います。これに対して異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○中村委員長

異議なしと認めます。

したがって、審査の方法は、各課より説明を受け、質疑の後、会計ごとに討論、採決することと決定しました。

審議に当たりまして、質疑の際はマイクボタンを押し、予算書のページを明示の上、簡潔明瞭に、かつ議題外にわたらないようお願いいたします。質疑は1人1問とし、さらに質問があれば、ほかの委員の質問が終わってから許すことといたします。また、関連で質問する場合は、第1質問者の質疑が終わってから行ってください。

なお、説明員の交代につきましては、その都度休憩を宣言して行います。

令和8年度士幌町各会計予算の総括説明を求めます。副町長、登壇願います。

○亀野副町長

それでは、令和8年度予算の総括説明をさせていただきます。

初めに、本年は3月8日に士幌町長選挙を控えていることから、扶助費など町民生活に関わる義務的経費を中心とする骨格型の予算編成としております。また、前年度から引き続き実施する事業の必要経費のほか、インフラ整備の建設費用など年度当初から速やかに実施しなければならない事業について当初予算に計上しているほか、歳入に見合った歳出規模を原則としつつ、事業の緊急度や重要度を考慮した予算編成を行ったところでございます。

それでは、令和8年度予算説明資料により説明させていただきますので、表紙をおめくりいただきまして、資料の1ページを御覧願います。1ページでは、令和8年度当初予算全会計の総括表となっております。一般会計から4特別会計、3企業会計まで記載をしておりますが、一般会計では85億2,000万円で、大型事業の完了に伴い対前年度比26億4,000万円、23.7%減の予算となりました。

国保会計は、北海道への医療給付費分の納付金の減により前年度より1.7%減の10億3,791万4,000円の予算となりました。

後期高齢者会計は、連合会への納付金の増により28.1%増の1億6,094万8,000円、介護会計は業務の直営化に伴う委託料の減により2.2%減の6億6,892万9,000円、介護サービス

会計は冷房設備改修工事、業務委託等の経費増加分や特に人件費に関わる予算増に伴い9%増の7億1,173万8,000円となりました。

病院会計では、給与費の増により収益的収支で2.3%増、有形固定資産購入費の減により資本的収支で7.9%減となり、合わせて1.1%増の11億7,083万1,000円となりました。

簡水会計では、施設の更新等に関わる修繕費の組替えに伴い、収益的、資本的収支で増減はあるものの、収益的収支で3億6,535万6,000円、資本的収支で1億1,825万4,000円となり、合わせて5.1%増の4億8,361万円となりました。

下水道会計は、収益的収支で2億3,460万4,000円、資本的収支で7,423万7,000円となり、合わせて0.4%増の合計3億884万1,000円となり、収益、資本的収支で増減はあるものの、ほぼ前年度と同様でございます。

全会計の総額は130億6,281万1,000円で、対前年度比16.3%減の予算総額となったところでございます。

次に、2ページ目の令和8年度一般会計の歳入歳出別対比表を御覧願います。こちらに記載の円グラフの外側が令和8年度分でありまして、前年度との比較となっております。上段のグラフが歳入でありまして、額については町税をはじめ一般財源総額は地方交付税の伸びにより微増となった一方、特定財源では大型事業や各種事業等の完了に伴う国、道支出金、町債及び繰入金が大幅に減っているという構図となっております。構成比率では、一般財源が53.2%、特定財源が46.8%となっております。下段のグラフが歳出でありまして、投資的経費では認定こども園、こども発達相談センター移転新築完了に伴い普通建設事業費が大幅に減り、消費的経費では人事院勧告に伴う人件費の増加に加え、物価高騰や賃金上昇の影響を受けるなど、エネルギーや業務委託等の経費が昨年に引き続き伸びており、その他につきましては各種事業等の実施に伴う公債費が増え、構成比率では投資的経費が14%、消費的経費が63.9%、その他が22.1%となっております。

次に、3ページ目は歳入歳出の款別の対比表であります。左が歳入であり、特に骨格型の予算のため、政策予算の財源充当する対象事業の縮小や認定こども園、こども発達相談センター移転新築完了に伴う国庫支出金、町債及び繰入金が大幅に減る一方で、地域経済情勢等を踏まえ、町税及び地方交付税を厳然として見込み、そのほかの構成比につきましては微増減となっております。右側の歳出につきましては、歳入でもご説明した認定こども園、こども発達相談センター移転新築建設事業に関連した経費が大きく減るなど、民生、衛生費が11.1ポイント減少し、併せましてしほろ温泉プラザ緑風外構工事、役場庁舎電気室屋外移設の完了に伴い、総務費、商工・労働費が減少したほかは、増減はあるもののほぼ前年度と同様でございます。

次に、4ページ、5ページをお開き願います。こちらは、性質別の歳出予算額調べであります。上段の人件費、下段の繰出金は、人事院勧告に伴う人件費の増加によるもので、人件費総額で5.8%、繰出金11.1%の増となりました。普通建設事業費の減は、先ほど来の説明にもありましたとおり、特に認定こども園、こども発達相談センター移転新築完了に伴い71.2%の減となった一方、各種事業の起債償還が始まったことから公債費で8.4%増となっております。また、ごみ処理広域化に伴い、十勝圏複合事務組合負担金が増えており、補助費で7.6%増となっております。

次に、6ページ、7ページの節別の歳出予算額調べを御覧願います。先ほど説明したと

おり、上段の報酬から共済費までと下段の繰出金は、人事院勧告に伴い人件費関係が増えているもので、需用費は委託料からの区分変更による増のほか、町有林整備に伴う造林用苗木購入で原材料費が増え、デマンド型交通システム事業に伴う車両と除雪車両の購入により備品購入費が増えており、その他物価高騰や賃金上昇も含む経費の伸びなどにより他の節が微増となっております。なお、大型事業の完成に伴い、関連する節が減額となっております。

次に、8ページから9ページにかけては、建設事業費に関するものでございます。まず、補助事業であります。森林の適正な管理、森林資源の循環利用に努めるために引き続き町有林管理事業及び豊かな森づくり推進事業を進めるほか、下居辺地区明渠関連事業及び町道整備事業として新規事業1路線、継続事業3路線と橋梁長寿命化に伴う年次的に行う点検として46橋と設計、工事ともに2橋予定をしております。また、公営住宅建て替え事業に関連した経費を含む補助事業の合計では4億726万1,000円となりました。

2の単独事業分では、特に高圧受変電設備機器更新工事については、リサイクルセンターを含む4件を合わせて5,477万7,000円、中音更地区農道整備事業に4,600万円、多面的機能支払事業、町内全9地区の保全隊への補助金として1億4,438万3,000円など、その他各施設の老朽化対策に伴う改修工事のほか、継続事業が主なものとなっております。前年度より4億1,512万円減の4億7,310万6,000円となりました。

3の道営事業では、畑総4地区、水利1地区、特別農道1地区は継続事業として実施され、事業費は合計で3億822万円で、前年度より1億3,660万円の減となりました。

受託事業等につきましては、記載のとおりでございます。

なお、各種建設事業に関する図面等の資料は、10ページの町有林管理事業位置図から12ページの土木事業施行箇所位置図までそれぞれ掲載してございますので、ご参照願います。

以上、令和8年度予算の概要説明とさせていただきます。

○中村委員長

総括説明が終わりました。

ここで説明員交代のため暫時休憩といたします。ここで11時5分まで休憩といたします。

午前10時50分 休憩

午前11時05分 再開

○中村委員長

休憩を解き委員会を再開します。

令和8年度土幌町一般会計予算を議題といたします。

議会費、総務費の説明を求めます。事務局長。

○藤内事務局長

50ページ、議会費について議会事務局長、藤内よりご説明いたします。

1款1項1目議会費の予算総額は7,678万8,000円で、前年度対比14万7,000円の減額となっております。前年の実績等を見込み、前年と同様の予算を計上しています。

以上で説明を終わります。

○中村委員長

総務課長。

○西野課長

総務課長、西野よりご説明申し上げます。

52ページの2款1項1目一般管理費は、前年度対比1億2,770万8,000円減の3億8,603万6,000円を計上し、特定財源につきましては総務費委託金の権限委譲交付金、総務使用料の建物使用料をそれぞれ記載のとおり充当しております。53ページ上段、1節報酬から4節共済費までは、人件費として合計で前年度対比1,722万2,000円増の2億8,865万1,000円で、増額の主な要因は会計年度任用職員の増及び人事院勧告に伴い給料、手当などが増となったことによるものでございます。10節需用費では、電気料を前年度比30万円増の570万円計上、11節役務費では郵便料を前年度対比60万円減の930万円計上、電話料は新築した認定こども園、発達相談センターの光回線分の増などを踏まえ、前年度比25万円増の525万円計上、その他は前年度実績等を考慮した計上としたところでございます。55ページをお開き願います。12節委託料では、前年度まで2か年計画で進めました条例など例規のアナログ規制点検・見直し支援業務が終了したことによる減額がありますが、人件費、資材費等の高騰による各種施設管理点検等委託業務全般で増額となっており、12節全体では前年度対比93万5,000円増の3,661万7,000円を計上、13節使用料及び賃借料では新築した認定こども園における印刷機や公用スマホ使用に要する費用などを見込み、13節全体では前年度対比143万9,000円増の1,605万4,000円を計上したところでございます。なお、前年度計上がありました14節工事請負費は、庁舎電気室の屋外移設、庁舎南側のスロープ設置などが終了したため計上はなく、その他の節においてはおおむね前年度実績を考慮し、計上したところでございます。

以上で説明を終わります。

○中村委員長

地域戦略課長。

○小野寺課長

地域戦略課長、小野寺よりご説明を申し上げます。

2目文書広報費は、前年度対比234万4,000円増の1,219万円を計上、特定財源につきましては自衛官募集事務委託金及び雑入金を記載のとおり充当をしております。増額の主な要因は、55ページに移りまして、10節需用費の広報しほろなど印刷製本費が物価高騰に伴う増額と4年に1度の町勢要覧本編の作成に伴いまして、608万6,000円を増額計上をいたしました。12節委託料では、57ページにかけまして、前年度は企画費に計上しておりましたふるさと納税管理支援業務委託を広報支援業務委託としまして、ふるさと納税のみならず町の主要観光拠点を中心に町の魅力発信をしていくための業務に変更したため、文書広報費に移動計上をしました。そのほかは、おおむね前年度実績等を考慮した計上としており

ます。

以上で説明を終わります。

○中村委員長

総務課長。

○西野課長

総務課長、西野よりご説明申し上げます。

56ページの3目財産管理費は、前年度対比1,266万2,000円減の2,623万1,000円を計上し、特定財源につきましては総務使用料の土地、建物使用料、財産貸付収入の町有地、町有建物貸付料など記載のとおり充当しております。57ページの10節需用費では、実績に応じ消火器や公用車物品など消耗品費を前年度比100万円増の550万円、町有施設や公用車の修繕に伴う修繕料を前年度比180万円増の450万円計上、11節役務費では認定こども園、発達相談センター分の増額などに伴い、火災保険料で前年度比234万4,000円増の654万7,000円を計上したところでございます。12節委託料では、町が所有する資産を掲載した固定資産台帳の精緻化に係る費用として業務委託料66万円を新たに計上、13節使用料及び賃借料では前年度に導入した電子契約システムの利用に係る費用として利用料15万5,000円を新たに計上、14節工事請負費では旧新田小学校の変圧器を撤去する費用として37万7,000円を新たに計上したところでございます。なお、18節負担金補助及び交付金に前年度まで2,000万円計上していました北海道備荒資金組合納付金については計上せず、その他においてはおおむね前年度実績を考慮し、計上したところでございます。

以上で説明を終わります。

○中村委員長

産業振興課長。

○吉川課長

産業振興課長、吉川からご説明いたします。

4目町有林管理費につきましては、前年度対比872万1,000円増の4,836万6,000円を計上し、特定財源につきましては総務費道補助金ほか記載のとおり見込むものでございます。増額の主な要因は、昨年11月に発生した風倒木処理費用として、59ページの12節委託料の林内環境整備事業委託料を前年度対比500万円増の550万円に増額、また15節原材料費で造林用苗木の植栽本数の増により前年度対比376万4,000円増の607万7,000円を計上したことによるものでございます。そのほかは、前年度実績に応じておおむね同額を計上しております。なお、事業箇所、事業面積につきましては、令和8年度予算説明資料11ページに記載しておりますので、ご参照願います。

以上で説明を終わります。

○中村委員長

総務課長。

○西野課長

総務課長、西野よりご説明申し上げます。

58ページの5目公平委員会費は、前年度と同額の15万4,000円を計上しております。

以上で説明を終わります。

○中村委員長

地域戦略課長。

○小野寺課長

地域戦略課長、小野寺よりご説明申し上げます。

58ページ、6目企画費は、前年度対比3,906万9,000円減の2億8,032万2,000円を計上、特定財源につきましては道支出金や指定寄附金など記載のとおり充当をしております。減額の主な要因は、昨年度は14節工事請負費で地上デジタル放送難視対策ギャップフィルターの機器設備更新に2,976万円、12節委託料で町づくり総合計画策定支援業務委託料300万円を新規計上しており、一時的に増額したものでございます。59ページ、7節報償費から61ページ、12節委託料までは、ふるさと納税の感謝特典事業に要する手数料、委託料など配分を見直し、総額経費については前年度と同額を計上しているほか、移住、定住施策に関しまして11節役務費において移住等町PR広告料として今まで掲載をしておりました移住雑誌休刊に伴い、映像作成に変更したことにより110万円に増額、13節使用料及び賃借料においては移住PRフェア等出展を74万5,000円に増額し、関東圏、関西圏で開催される移住フェアへの出展を増やし、幅広い層へのアプローチを進めることとしております。また、12節委託料において例年計上している重点プロジェクト推進事業委託料につきましては、昨年度第3期総合戦略、今年度第7期総合計画の策定が完了したことから廃止するものでございます。そのほかは、おおむね前年度実績を考慮した計上としております。18節負担金補助及び交付金は、おおむね前年度同様の額を計上しておりますが、結婚新生活支援補助金については、昨年度までの地域少子化対策重点推進交付金から名称変更するとともに、実績に合わせて減額をしております。

62ページに移りまして、7目環境対策費は、前年度対比2,188万6,000円減の6,395万2,000円を計上、特定財源につきましては国の重点対策加速化事業である地域脱炭素移行・再エネ推進交付金、北海道の住まいのゼロカーボン化推進事業補助金、愛のまち建設基金繰入金など記載のとおり充当をしております。減額の主な要因は、公共施設への太陽光発電設備導入が終了したことに伴うものであり、そのほかはおおむね前年度実績を考慮した計上としております。63ページ、18節負担金補助及び交付金では、補助金事業開始から3年が経過し、引き続きさらなる脱炭素化に取り組んでいくため、環境省の補助事業である自家消費型太陽光発電設備導入補助金4,188万6,000円を計上したほか、蓄電池導入補助金350万円、冷蔵庫の省エネ家電買換え補助金1,000万円を計上しております。

以上で説明を終わります。

○中村委員長

町民課長。

○角田課長

町民課長、角田よりご説明申し上げます。

8目生活安全推進費は、前年度対比20万4,000円減の434万8,000円を計上し、特定財源につきましては総務費道補助金の消費者行政活性化事業交付金を見込んでおります。減額の主な要因は、65ページ、18節負担金補助及び交付金の安全運転支援装置設置補助金を実績により20万円減額したことによるもので、その他の節につきましては前年度実績に応じておおむね同額を計上しております。

以上で説明を終わります。

○中村委員長

総務課長。

○西野課長

総務課長、西野よりご説明申し上げます。

64ページの9目情報管理費は、前年度対比5,329万2,000円減の1億4,774万6,000円を計上し、特定財源につきましては総務費国庫補助金の社会保障・税番号制度システム整備費補助金及びデジタル基盤改革支援補助金の計2件、合わせまして411万1,000円を充当しております。65ページの12節委託料では、L G W A N機器や庁舎用ファイルサーバーの更新などに伴い、電算機保守管理委託料を前年度比792万6,000円増の1,190万3,000円を計上したほか、自治体情報システムの標準化、共通化の推進に関連した費用として、プログラム変更委託料は前年度比9,843万2,000円減の803万5,000円を計上し、住民情報システム自治体クラウド事業委託料については前年度比3,749万9,000円増の7,404万3,000円を計上、17節備品購入費では業務用パソコンの更新費用など前年度対比60万円増の800万円を計上したところでございます。その他の節においては、おおむね前年度実績等を考慮し、計上したところでございます。

以上で説明を終わります。

○中村委員長

地域戦略課長。

○小野寺課長

地域戦略課長、小野寺より、10目地域生活交通確保対策事業費は前年度対比4,980万8,000円増の7,801万1,000円を計上、特定財源につきましては国土交通省の交通空白事業補助金、国鉄士幌線基金の利子収入、同基金の繰入金及び愛のまち建設基金繰入金を記載のとおり充当をしております。増額の主な要因は、65ページの10節需用費は前年度実績に応じて計上、67ページに移りまして、12節委託料では昨年12月にタクシー料金の値上げがあったことから、コミュニティバスの運行委託料831万6,000円に増額、交通公園旧駅舎等保護管理委託料については今年度で事業完了とし、廃止しております。また、令和7年度より検討

しておりましたデマンド交通では、10月からの予定の実証運行を行うに当たりまして、デマンド交通システム導入委託料、デマンド交通運行業務委託料、デマンド交通車両デザイン委託料に総額2,597万1,000円を計上、17節備品購入費は車両購入費用として2,413万6,000円を増額計上しており、18節、路線バス2社への補助である地域生活交通路線維持費補助金は前年度ほぼ同額を計上、そのほかはおおむね前年度実績を考慮した計上としております。

次に、11目協働推進事業費は、令和7年度の実績に応じ、前年度対比100万円減の1,223万円を計上したところでございます。特定財源につきましては、愛のまち建設基金繰入金を記載のとおり充当しております。

以上で説明を終わります。

○中村委員長

総務課長。

○西野課長

総務課長、西野よりご説明申し上げます。

66ページ下段の12目諸費は、前年度対比2,486万9,000円減の3,040万7,000円を計上したところでございます。69ページをお開き願います。12節委託料では、令和4年度に作成しました防災ガイドブックの更新に係る費用として569万2,000円を計上し、前年度に実施しました防災無線の送信局、受信局の部品交換、機器更新や全国瞬時警報システム、通称Jアラートの受信機更新、新たな衛星アンテナの設置などが完了したため、12節全体では前年度対比1,238万1,000円減の1,399万4,000円を計上、なお前年度計上がありました14節工事請負費はマンホールトイレ設置工事が終了したため計上がなく、その他の節においてはおおむね前年度実績を考慮し、計上したところでございます。

続きまして、68ページの13目財政調整基金費は、前年度対比224万8,000円増の241万7,000円を計上し、利子分を基金に積み立てるもので、特定財源につきましては基金利子収入を全額充当、次の14目愛のまち建設基金費は前年度対比289万7,000円増の2億5,314万8,000円を計上、利子分と指定寄附金を基金に積み立てるもので、ふるさと納税の寄附実績を踏まえた計上とし、特定財源につきましては基金利子収入及び指定寄附金を記載のとおり充当、次の15目飯島賞贈呈基金費は前年度と同額の5万円とし、表彰者への記念品を購入する費用を計上、特定財源につきましては基金利子収入及び70ページ上段に記載の繰入金を充当したところでございます。

70ページをお開き願います。16目減債基金費は、前年度対比229万3,000円増の254万4,000円を計上し、利子分を基金に積み立てるもので、特定財源につきましては基金利子収入を全額充当するものです。

以上で説明を終わります。

○中村委員長

町民課長。

○角田課長

町民課長、角田より2項1目税務総務費についてご説明申し上げます。

前年度対比692万9,000円増の4,767万7,000円を計上したところで、特定財源につきましては総務手数料の税務関係公簿閲覧手数料、督促手数料のほか記載のとおり見込んでおります。増額の主な要因につきましては、1節報酬から4節共済費までの人件費の増額によるもので、その他の節につきましては前年度実績に応じておおむね同額を計上しております。

次に、72ページに移りまして、2目賦課徴収費は前年度対比132万9,000円増の2,165万8,000円を計上し、特定財源につきましては総務手数料の自動車臨時運行許可申請手数料を記載のとおり見込んでおります。増額の主な要因につきましては、18節負担金補助及び交付金の十勝市町村税滞納整理機構市町村負担金及び地方税電子化協議会会費分担金の増額によるもので、その他の節につきましては前年度実績に応じておおむね同額を計上しております。

次に、3項1目戸籍住民基本台帳費は、前年度対比1,310万2,000円減の2,652万8,000円を計上し、特定財源につきましては総務手数料の諸証明手数料のほか記載のとおり見込んでおります。減額の主な要因は、戸籍法改正による振り仮名対応業務の完了により11節役務費43万円と12節委託料の317万4,000円を減額、5年ごとの戸籍システム更新業務の完了により委託料785万3,000円を減額したことによるもので、その他の節につきましては前年度実績に応じておおむね同額を計上しております。

以上で説明を終わります。

○中村委員長

選挙管理委員会事務局長。

○西野事務局長

選挙管理委員会事務局長、西野よりご説明申し上げます。

74ページ下段の4項1目選挙管理委員会費は、前年度対比10万4,000円増の666万3,000円を計上したところでございます。75ページ下段、2節給料から4節共済費までは、職員1名分の人件費として合計で前年度対比13万2,000円増の579万4,000円を計上し、その他の節においてはおおむね前年度と同額を計上したところでございます。

76ページをお開き願います。76ページ中段の2目知事道議会議員選挙費は、来年4月に執行が予定されます選挙において令和8年度内に執行する費用として総額731万5,000円を計上するもので、特定財源につきましては道の選挙委託金を同額充当するものでございます。

次の3目町議会議員選挙費は、来年4月に執行を予定しています選挙において令和8年度内に執行する費用として総額147万2,000円を計上したところでございます。なお、78ページの上段に記載があります参議院議員通常選挙費並びに町長選挙費は廃目でございます。

以上で説明を終わります。

○中村委員長
地域戦略課長。

○小野寺課長
地域戦略課長、小野寺よりご説明申し上げます。

2款5項1目統計調査総務費は、前年度対比725万1,000円減の566万9,000円を計上、特定財源につきましては経済センサス委託金など記載のとおり充当をしております。職員の人件費を前年度同様計上しているほか、減額の主な要因は前年度実施いたしました大規模な統計調査であります国勢調査が終了したことに伴う予算計上としております。

以上で説明を終わります。

○中村委員長
監査委員事務局長。

○藤内事務局長
78ページ、監査委員費について監査委員事務局長、藤内よりご説明いたします。

2款6項1目監査委員費の予算総額は209万2,000円で、前年の実績等を見込み、前年と同額の予算を計上しています。

以上で説明を終わります。

○中村委員長
説明が終わりましたので、議会費、総務費について質疑を行います。ありませんか。牧野委員。

○牧野委員
61ページ、12節委託料なのですが、ふるさと納税なのですが、昨年制度改正でポイント付与が禁止となりましたが、先週の補正予算の中で増額ということで、今年度3月末にはいい数字になるのかなと思いますし、ポイント廃止について対応が取れたのかなとも感じていますが、令和8年度もまた制度改正あるとお聞きしているので、その内容とそれに対しての対応をどのように考えているのかお伺いします。

○中村委員長
地域戦略課ふるさと未来係長。

○増田係長
ふるさと未来係、増田より牧野委員のご質問にご回答させていただきます。
令和8年度の制度改正につきましては、ふるさと納税に係る経費の5割基準を令和8年10月から段階的に引き下げ、最終的に令和11年10月から経費の4割以下となることが決まっております。このことから、本町においては経費削減や寄附額の見直し等をさらに弾力的に行う必要があり、返礼品事業者と共に連携をしながら、引き続き本町のPRと安定的

な財源確保に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

以上になります。

○中村委員長

6番、牧野委員。

○牧野委員

今年度の寄附額、いい数字になるのかなと思いますが、この先令和8年度以降のように延ばしていくかというところを担当で考えがあるのならお聞きしたいと思います。

○中村委員長

地域戦略課ふるさと未来係長。

○増田係長

ふるさと未来係長、増田よりご回答申し上げます。

令和8年度の戦略といたしましては、本町においては寄附額、寄附者の層といたしましては8割方がリピーターで成り立っております。ですので、返礼品といたしましては、単品というよりもセットというメニュー表示をしながら、引き続き町の魅力と返礼品事業者にしっかり裨益できるように取り組んでいきたいと考えております。

以上となります。

○中村委員長

ほかにありませんか。

(なしの声あり)

○中村委員長

なければ、これで議会費、総務費の質疑を終了といたします。

本日の予算審査特別委員会はこれにて散会します。

次回の予算審査特別委員会は、明日17日午前10時から再開します。

お疲れさまでした。

(散会 午前11時33分)